

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 27 年 6 月 8 日現在

機関番号：17101

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2012～2014

課題番号：24531205

研究課題名(和文)「見る」力と「見せる」力を中心にしたメディア・リテラシー教育のための教材開発

研究課題名(英文) Development of effective methods and materials for media education: viewing and presentation

研究代表者

寺岡 聖豪 (TERAOKA, SEIGO)

福岡教育大学・教育学部・教授

研究者番号：80253368

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 4,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は「見る」力と「見せる」力を中心にしたメディア・リテラシー教育のための教材を開発することである。そこで、「読む」、「書く」、「話す」、「聞く」と従来、捉えられてきたリテラシーに対して、本研究では新たに取り組む領域として「見る」と「見せる」を設定し、(1)リテラシー概念を俯瞰するための「見取り図」を作成した。続いて、(2)幼稚園での調査を手がかりにして、「見る」と「見せる」の保育事例集を作成した。また、(3)小中学校の国語科と社会科における「見る」と「見せる」の教材を開発した。最後に、(4)デジタルコンテンツの活用と関わる「見る」「見せる」に関する評価指標を明らかにした。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this study was to develop effective methods and materials for media education: viewing and presentation. The study took the following four steps: (1) to survey the important and pilot examples of media education; (2) to develop lessons in preschools; (3) to develop methods and materials for ; Japanese Language and Social Studies; (4) to review method for the assessment of 21st century skills.

研究分野：教育学

キーワード：メディア・リテラシー 見る 見せる 21世紀型スキル 教材開発 言語活動

### 1. 研究開始当初の背景

新学習指導要領(小学校:平成23年から、中学校:平成24年から)では「国語をはじめ各教科等で、記録、説明、批評、論述、討論などの言語を使った活動を行い、全ての教科等で言語の力をはぐくみます」として、「言語活動」が重視されるようになった。しかし、「言語活動」は今まで軽視されてきたわけではない。それよりもむしろ、「言語活動」は学校の全教育活動において中核をなしてきた。

言うまでもなく、教科書の中心となるのは「文字」である。しかし、理解を促すために、教科書には文章とともに、挿絵や写真、図表が載せられている。これらの「文字」以外のものを、教師は授業でどのように扱ったら良いのだろうか。この点について、私たちは十分に認識してきたとは言えないように思われる。

国語科教育では「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」を対象としてきた。それに対して、社会状況や科学技術が急激に変化するなかで、私たちに必要とされるリテラシーは上記の「古典的な」意味を大きく越えるようになった。そこで、本研究では「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」に加えて、「見ること」と「見せること」までリテラシー概念を拡張して、「新しいリテラシー」を検討することとした。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は「見る」力と「見せる」力をメディア・リテラシー教育のための教材を開発することである。

- (1) 従来のリテラシー：聞く・話す(音声)、読む・書く(文字)
- (2) 新しいリテラシー：聞く・話す(音声)、読む・書く(文字) + 見る・見せる(映像)

新学習指導要領で「言語活動」が重視されるようになったのは、リテラシー概念が(1)から(2)へ転換したことがその背景として考えられないだろうか。グローバル化が進む現在、多様な価値観、自分とは異なる文化や歴史に立脚する人々とともに、正解のない課題、経験したことのない課題を解決していかなければならない。「多文化共生」の時代である。このような時代を生きる子どもたちは、積極的に「開かれた個」(自己を確立しつつ、他者を受容し、多様な価値観を持つ人々とともに思考し、協力・協働しながら課題を解決し、新たな価値観を生み出しながら社会に貢献することのできる個人)であることが求められる。その場合、従来のリテラシーに加えて、「見る」力と「見せる」力も必要となる。というのは、文章だけでなく、挿絵や写真、図表など、文字以外の情報によりコミュニケーションを図らなくてはならないからであ

る。

そこで、本研究ではリテラシー概念を俯瞰し、国語科における「見る」教育と「見せる」教育とは何かを明らかにすることを出発点として、保育・幼児教育や社会科における「見る」教育と「見せる」教育を考えるとともに、デジタル教科書をめぐる議論を整理し、その可能性を探る。そして、これらの考察をもとにして、「見る」力を「見せる」力を育てるメディア・リテラシー教育のための教材を開発したい。

### 3. 研究の方法

本研究では「理論」編として、(1)リテラシー概念を俯瞰するための「見取り図」を作成する。その際、松下佳代らの研究(『<新しい能力>は教育を変えられるか』ミネルヴァ書房)を参照して、高度情報化社会(知識基盤社会)において要請されるリテラシーを検討している文献を収集する。続いて「実践」編として、(2)保育所・幼稚園での参与観察・インタビュー調査によって、幼児教育段階における「見る」力と「見せる」力に関する保育事例集を開発する。(3)小学校・中学校の国語科と社会科の教科書を分析するとともに、「見る」と「見せる」に関連した授業を分析し、教材事例集を開発する。(4)デジタル教科書の導入をめぐる反対論や慎重論を整理し、「紙の教科書」にはない利点や魅力を明らかにする。

### 4. 研究成果

「研究成果の概要」で述べた知見は以下の研究会などを通して得られた成果である。

#### 第1回研究会

2012年9月22日

神戸大学発達科学部

寺岡聖豪：リテラシーを巡る状況

小柳和喜雄：現在までの取組みとこれからの予定

赤沢早人：研究にかかる課題整理と方向性

中村敦雄：タブレットを活用したメディア・リテラシー実践

#### 第2回研究会

2013年3月1日

神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ

寺岡聖豪：テキスト思考と映像思考

小柳和喜雄：ICTの活用を通じた「見る・見せる取組」

中村敦雄：国語科におけるメディア/メディア・リテラシー

北野幸子：(1)子どもの好きな遊び、興味関心と合致した絵本の読み聞かせ実践、(2)子どもの振り返りに繋がる、ドキュメンテーションの工夫、(3)生活発表会等の後の振り返り

### 第3回研究会

2013年11月3日

奈良教育大学教職大学院

寺岡聖豪：リテラシーと思考ツール

小柳和喜雄：ヨーロッパ・キー・コンピテンシーとその評価方法に関する調査

赤沢早人：社会科授業における見る・見せる

北野幸子：(1)科学絵本を活用した保育実践の開発、(2)図鑑を活用した保育実践の開発、(3)図書館での科学絵本・図鑑ワークショップの開発、(4)ドキュメンテーションを活用した保育実践—舞鶴市プロジェクト型保育推進事業—

### 第4回研究会

2014年8月2日

福岡教育大学

寺岡聖豪：思考力・判断力・表現力の育成—現状と課題—

小柳和喜雄：3年次目報告書・ハンドブック作成と関わって

赤沢早人：報告書のための構成案

中村敦雄：小・中学校国語科におけるマルチモーダルな言語活動の可能性

北野幸子：(1)科学絵本を活用した保育実践の開発、(2)図鑑を活用した保育実践の開発、(3)図書館での科学絵本・図鑑ワークショップ、(4)ドキュメンテーションを活用した保育実践—舞鶴市プロジェクト型保育推進事業—、(5)神戸市幼児期における躰実践モデル事業

### 第5回研究会

2015年3月17日

神戸大学発達科学部

寺岡聖豪：教員養成におけるメディア・リテラシーの育成—メディアを学ぶ—

小柳和喜雄：デジタルコンテンツの活用と関わる「見る」、「見せる」に関する評価指標

赤沢早人：小・中学校社会科における「見る」力と「見せる」力

中村敦雄：国語科における「見る」力と「見せる」力の可能性

北野幸子：「見る」「見せる」保育実践の開発

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

#### 〔雑誌論文〕(計7件)

中村敦雄，国語科教育学における「メディア」概念の射程，全国大学国語教育学，国語科教育，査読無，第72集，2012，85～89ページ

中村敦雄，小・中学校国語科におけるマルチモーダルな言語活動の可能性—情報

端末活用における実践開発の試み—，群馬大学，教育実践研究，査読無，第31号，2014，1～10ページ

中村敦雄，〔伝統的な言語活動〕の学習指導改善—落語教材の検討を通して—，群馬大学，教育実践研究，査読無，第31号，2014，235～248ページ

中村敦雄，小学校におけるメディア・リテラシー，初等教育資料，査読無，917，2014，82～85ページ

小柳和喜雄，ヨーロッパ・キー・コンピテンシーの評価方法に関する調査報告，奈良教育大学，教育実践開発センター研究紀要，査読無，第23号，2014，139～144ページ

小柳和喜雄，汎用的なスキルの育成を視野に入れたナショナルカリキュラム(中等教育)改革に関する研究，奈良教育大学，次世代教員養成センター研究紀要，査読有，第1号，2015，365～369ページ

小柳和喜雄，教育学におけるメディアの位置，放送メディア研究，査読無，第12巻，2015，81～100ページ

#### 〔学会発表〕(計5件)

寺岡聖豪，思考力・判断力・表現力の育成—現状と課題—，日本教育メディア学会，2013年10月12日，和歌山大学(和歌山県)

小柳和喜雄，キー・コンピテンシーの評価方法に関する調査報告，日本教育メディア学会，2013年10月12日，和歌山大学(和歌山県)

小柳和喜雄，21世紀スキルの育成を視野に入れたナショナルカリキュラム(中等教育)改革を探る—アイルランドの場合—，日本カリキュラム学会，2014年6月28日，関西大学(大阪府)

寺岡聖豪，「見る」力と「見せる」力に関する分析，日本教育メディア学会，2014年10月12日，金沢星稜大学(石川県)

寺岡聖豪，教員養成におけるメディア・リテラシーの育成—メディアを学ぶ—，日本教育メディア学会ワークショップ「教員養成・現職教育におけるメディア活用」，2015年2月7日，奈良教育大学(奈良県)

#### 〔図書〕(計3件)

東京学芸大学国語教育学会ほか編著(分担執筆 中村敦雄)，東洋館出版社，小学校 子どもが生きる国語科学習用語，2013，174ページ

大熊徹也編著(分担執筆 中村敦雄)，東洋館出版社，国語科授業を活かす理論×実践，2014，172ページ

全国大学国語科教育学会編(分担執筆 中村敦雄)，学芸図書，国語教育研究手法の開発，2015，70ページ

〔産業財産権〕 出願状況(計0件)  
取得状況(計0件)

〔その他〕

中村敦雄が行った群馬大学附属小学校・中学校との共同研究が毎日新聞(2013年2月9日,23日掲載)において紹介された。

授業実践,寺岡聖豪,「まわしよみ新聞」,2014年11月6日,福岡教育大学

授業実践,寺岡聖豪,「イメージを語る・撮る・共有する(1)」および「イメージを語る・撮る・共有する(2)」,2014年11月27日,12月4日,福岡教育大学

授業実践,寺岡聖豪,「雑誌を読み解く(1)」および「雑誌を読み解く(2)」,2014年12月11日,12月18日

報告書,寺岡聖豪,理論編 「見る」力と「見せる」力を中心にしたメディア・リテラシー教育,報告書 「見る」力と「見せる」力を中心にしたメディア・リテラシー教育のための教材開発,2015年3月27日,1~19ページ

報告書,北野幸子,理論編 「見る」「見せる」保育実践の開発,報告書 「見る」力と「見せる」力を中心にしたメディア・リテラシー教育のための教材開発,2015年3月27日,20~36ページ

報告書,中村敦雄,理論編 国語科における「見る」力と「見せる」力の可能性,報告書 「見る」力と「見せる」力を中心にしたメディア・リテラシー教育のための教材開発,2015年3月27日,37~47ページ

報告書,赤沢早人,理論編 小・中学校社会科における「見る」力と「見せる」力,報告書 「見る」力と「見せる」力を中心にしたメディア・リテラシー教育のための教材開発,2015年3月27日,48~61ページ

報告書,小柳和喜雄,理論編 デジタルコンテンツの活用と関わる「見る」「見せる」に関する評価指標,報告書 「見る」力と「見せる」力を中心にしたメディア・リテラシー教育のための教材開発,2015年3月27日,62~76ページ

報告書,寺岡聖豪,実践編 まわしよみ新聞,報告書 「見る」力と「見せる」力を中心にしたメディア・リテラシー教育のための教材開発,2015年3月27日,78~83ページ

報告書,寺岡聖豪,実践編 雑誌を読み解く,報告書 「見る」力と「見せる」力を中心にしたメディア・リテラシー教育のための教材開発,2015年3月27日,84~92ページ

報告書,寺岡聖豪,写真リテラシー,報告書 「見る」力と「見せる」力を中心

にしたメディア・リテラシー教育のための教材開発,2015年3月27日,93~98ページ

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

寺岡 聖豪(TERAOKA, Seigo)

福岡教育大学・教育学部・教授

研究者番号: 80253386

### (2) 研究分担者

小柳 和喜雄(OYANAGI, Wakio)

奈良教育大学・教育学研究科(研究院)・教授

研究者番号: 00225591

赤沢 早人(AKAZAWA, Hayato)

奈良教育大学・教育学部・准教授

研究者番号: 50380374

中村 敦雄(NAKAMURA, Atsuo)

明治学院大学・公私立大学の部局等・教授

研究者番号: 60323325

北野 幸子(KITANO, Sachiko)

神戸大学・人間発達環境学研究科・准教授

研究者番号: 90309667

### (3) 連携研究者

なし